

愛知県の療養者数と入院率の現況



スイスの孫息子の小学3年クラス写真

療養者とは治癒あるいは死亡した者を除いたその時点の患者数です。その患者数のうち在院している者の比率が入院率です。
新規感染者数が激増中の愛知県の現況と今後を占ってみました。



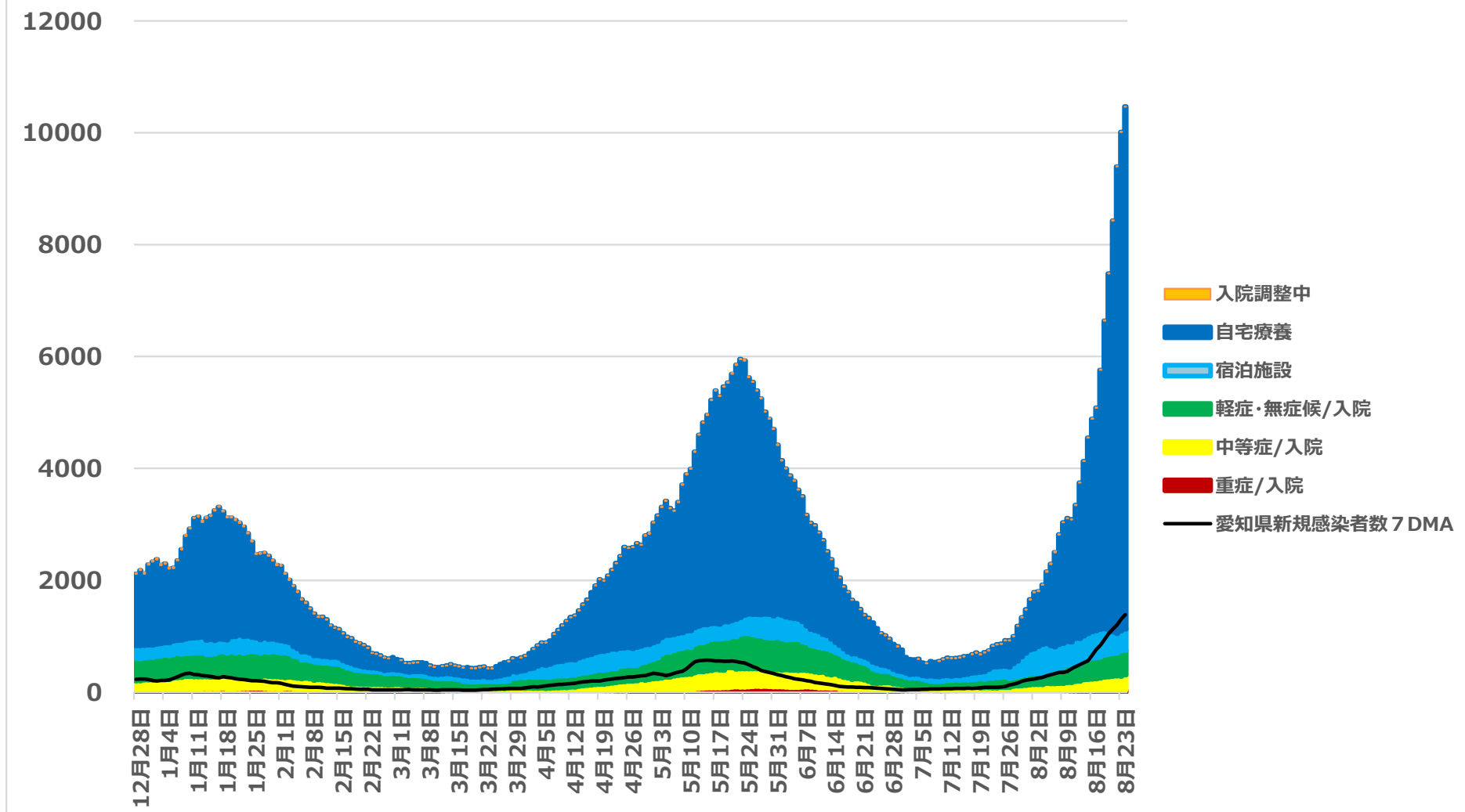
ぼけ老人の一步手前の私です
ら予測・想定していましたが...

愛知、コロナ感染最多1815人、知事「想定超え衝撃」

朝日新聞社

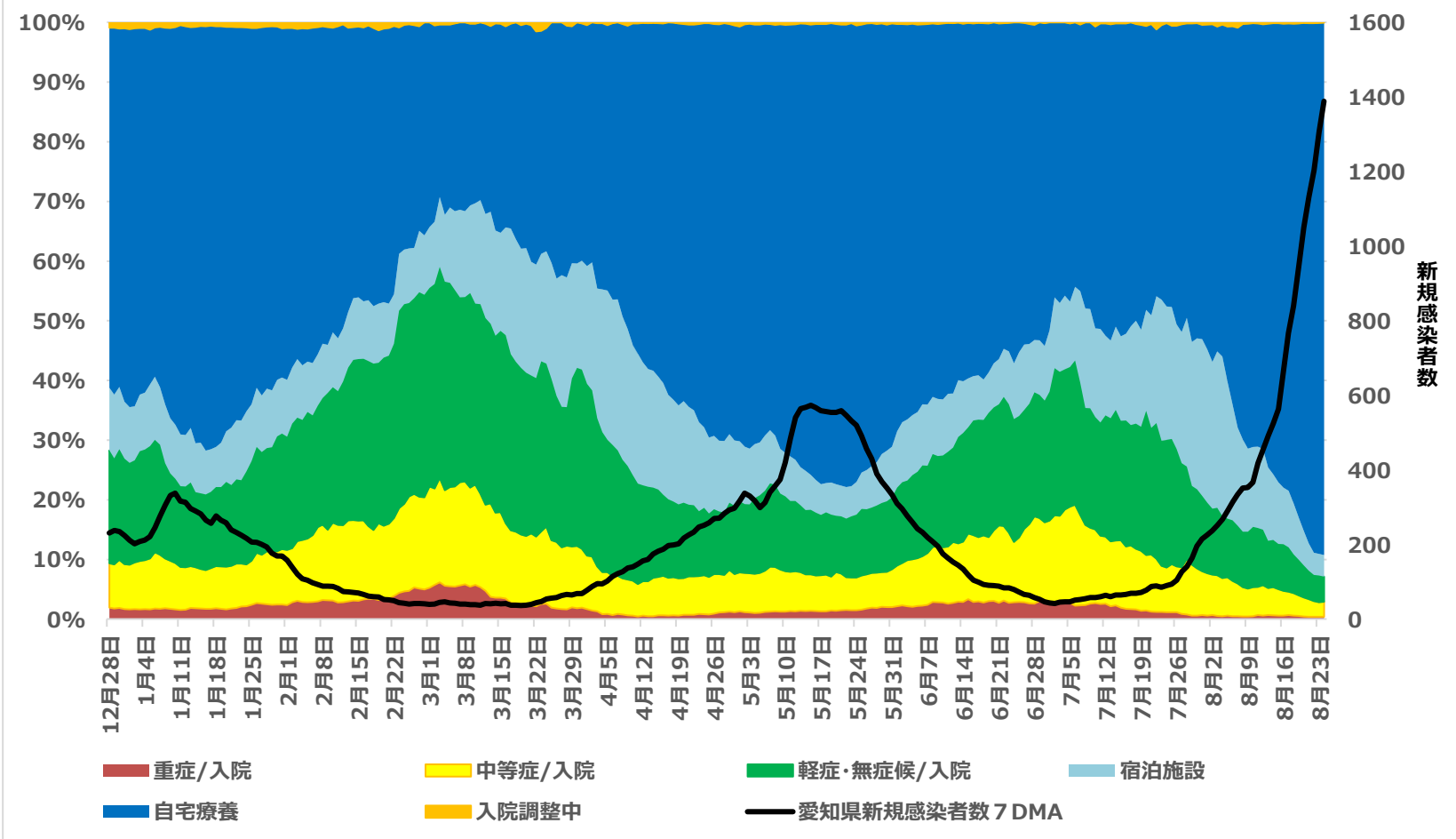
2021/08/25 19:00

愛知県の療養者数の推移



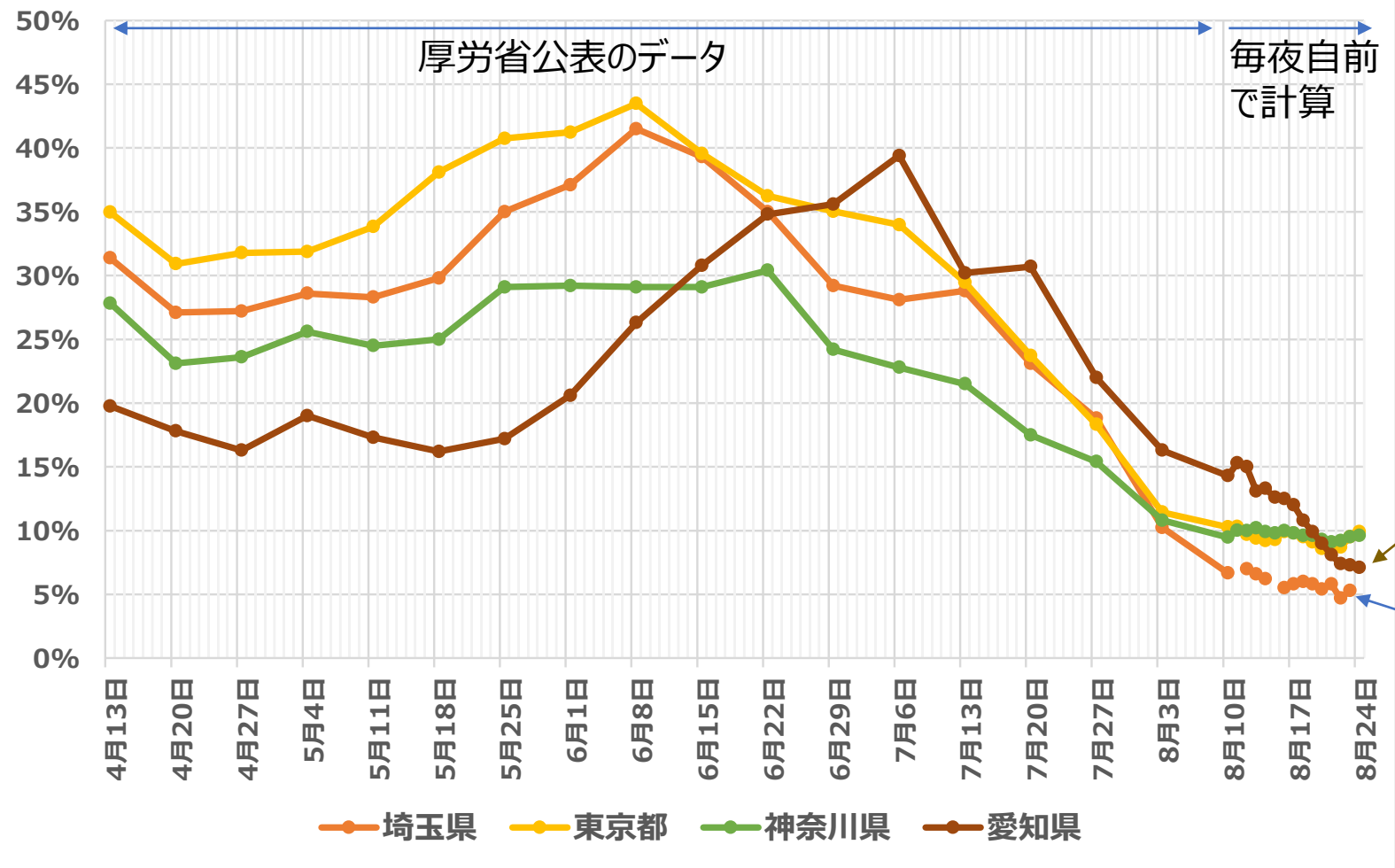
直近の愛知県の療養者数は第4波の2倍の12,000人に迫っています。

愛知県の療養者の対応割合の推移



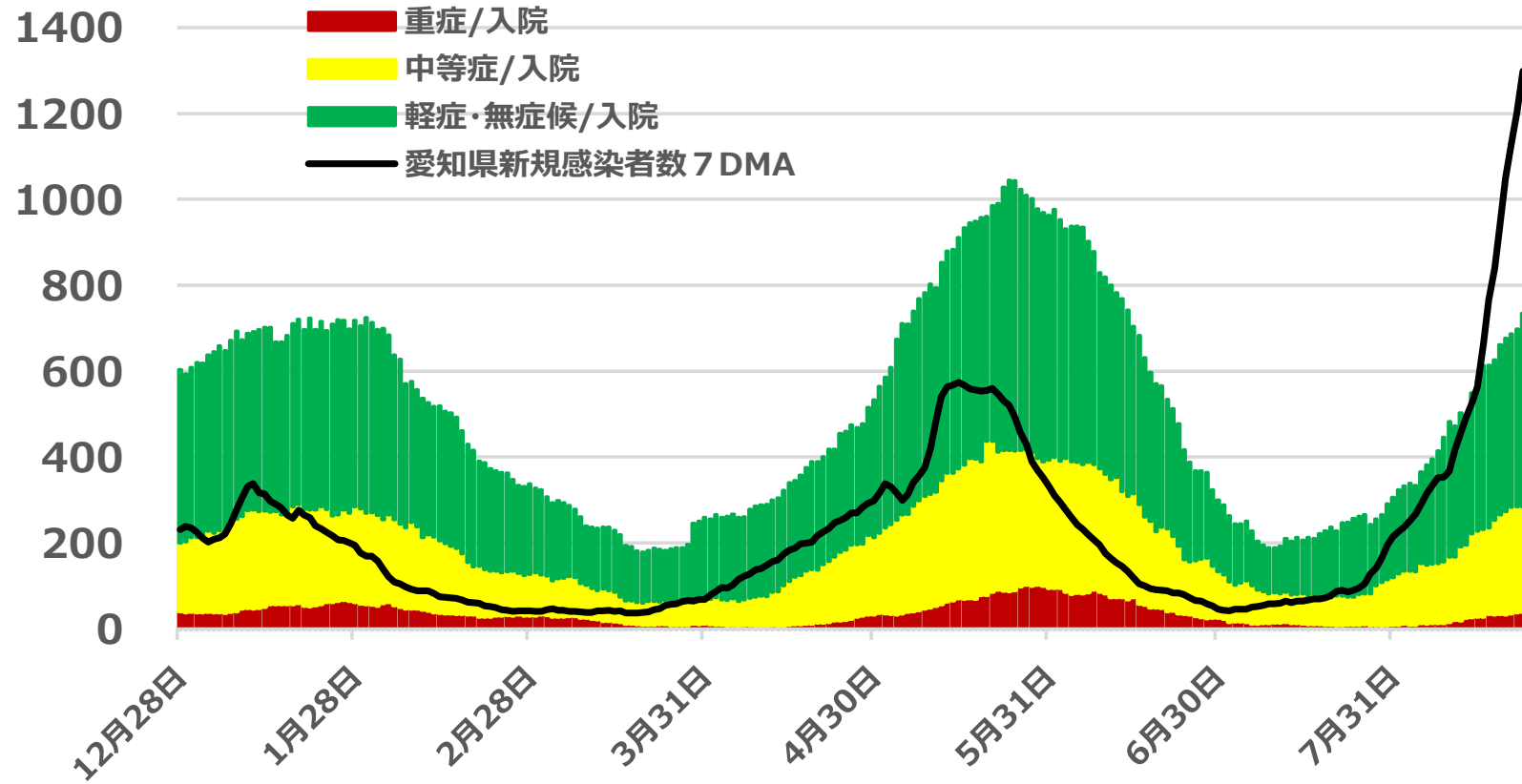
療養者数の9割は自宅療養で今日、明日には10,000人に達します。

入院率(在院患者数/療養者数)の推移



入院率をみると愛知県は東京都、神奈川県をぬいて崖っぷちの10%をきっています。

愛知県の在院感染者数の推移



在院患者数に限った愛知県の推移です。第3波、第4波では新規感染者数の約2倍が在院患者数ですが、第5波では反対に約1/2の在院患者数です。これまで「入院させ過ぎ」と指摘してきましたが、現況は「入院させなさ過ぎ」です。意図的ではなく、愛知県の保健所機能が麻痺状態で対応しきれていない結果かと推測されます。

今後、愛知県はどう対応するのか?? そんな中、昨日の第49回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（令和3年8月25日）に提出された資料2-5「現下の感染拡大を受けた緊急的な医療提供体制の拡充について」PowerPoint プレゼンテーション (mhlw.go.jp)の愛知県の対応をみて愕然としました。

現下の感染拡大を受けた緊急的な医療提供体制の拡充について（主な自治体の取組）

<東京都>

※下線は前回資料からの更新部分

- 確保病床 8/23 **6,406床**（うち重症者用**392床**）
- 宿泊療養 8/23 **3,230室**
- 入院待機患者の一時的な受入先として、医療機能を強化した宿泊療養施設を設置（**20床**）
- 8/23、厚生労働省と東京都において、都内全医療機関及び医師、看護師等養成機関に対し、感染症法第16条の2に基づき、患者受入や医療従事者の派遣等の協力を要請。
- 中和抗体薬の投与を行う施設を整備（※）（**120施設**）
※ 医療機関の参入を促すとともに、宿泊療養施設の一部を臨時の医療施設として活用
- 酸素ステーションを整備
- 8/23、自宅療養中の軽症の患者を一時的に受け入れる施設を臨時の医療施設として**130床**整備
- 8/21、休床病床を活用し、自宅療養中の主に中等症患者向けの酸素投与を行う病床を**80床**整備
- 8/12、緊急搬送困難時に救急隊からの要請に対応する病床を**36床**整備
- 自宅療養者の健康観察強化のため、都内全域で、都医師会・地区医師会・訪問看護事業者等と連携して往診・訪問診療、オンライン・電話診療、訪問看護等の医療体制を整備中
- 宿泊・自宅療養者の健康観察強化のための、パルスオキシメーター・酸素濃縮器の更なる確保
（現在パルスオキシメーター約7万台 → さらに約**2万台**、酸素濃縮器約500台 → さらに約**150台**上積み）

<神奈川県>

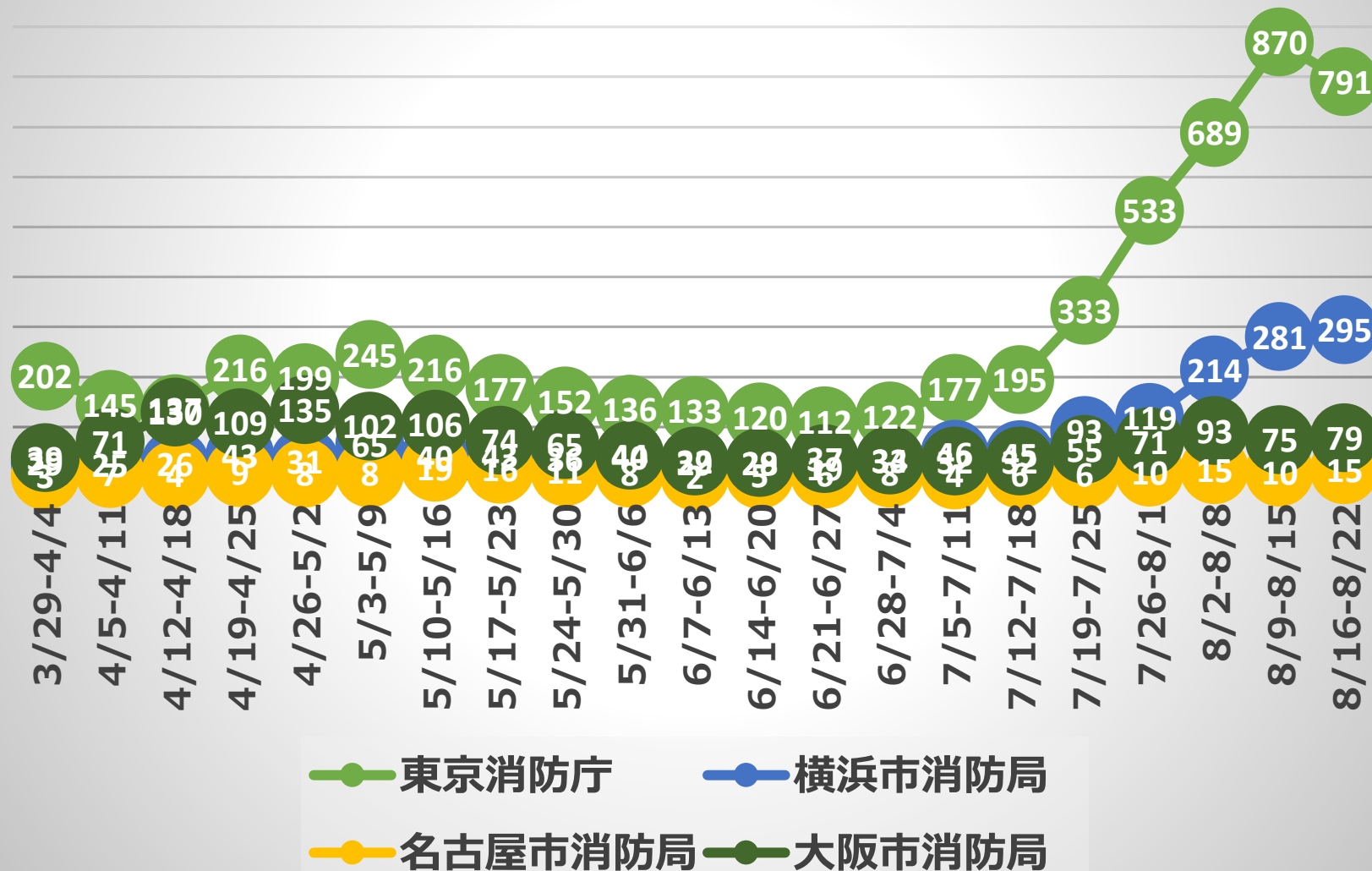
- 確保病床 7/14 1,790床（うち重症者用199床） → 8/18 **1,924床**（うち重症者用**241床**）
- 8/23時点の即応病床 **2,050床**（うち重症者用**286床**）
※ 新型コロナウイルス感染症患者の外来・入院機能の強化及び救急医療体制の堅持を図るため、医師が延期できると判断した入院や手術を3ヶ月程度一時停止するよう要請
- 宿泊療養 7/14 1,657室 → 8/18 **1,906室**
- 8月中を目途に、さらに**626室**の確保に向けて調整中
- 緊急酸素投与ステーション（HOTセンター）を横浜市に設置（**24床**）
- 自宅療養者・宿泊療養者全員にパルスオキシメーターの配送、医師会に委託し自宅療養者を地域の医師や看護師らが見守る「地域療養の神奈川県モデル」を実施

<愛知県>

- 確保病床 7/14 1,515床 (うち重症者用146床) → 8/23 **1,570床** (うち重症者用**170床**)
- 宿泊療養 7/14 1,109室 → 8/27 **1,514室**予定
- 更に増やすことを検討中
- 自宅療養者に対しては、医療機関や訪問看護ステーションと連携した往診・オンライン診療等による医療提供体制を整備 (8/23 医療機関数388、訪問看護ステーション数86)
- パルスオキシメーターを**5,000個追加**し、合計で約16,500個確保する予定

これを見る限り愛知県は「何もしない」ようです。

コロナ疑い傷病者の救急搬送困難事案



「救急搬送困難事案」とは、救急隊による「医療機関への受入れ照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

コロナ疑い事案とは、新型コロナウイルス感染症疑いの症状（体温37度以上の発熱、呼吸困難等）を認めた傷病者に係る事案

先週の時点では名古屋市の「救急搬送困難事案」は多くはありませんが、来週には愛知県でも「たらい回し」が新聞紙上をにぎわすかと予測します。気の毒なのは愛知県の不作為のせいで自宅死する患者さんです。